



# 第266回触媒化学研究センター談話会

---

演 題：HPG 法により調製した複合酸化物の  
触媒機能

講演者： 吉永 裕介 先生  
(東京学芸大学自然科学系基礎自然科学講座分子化学分野)

日 時：2010 年 1 月 28 日 (木) 16 : 00 ~ 17 : 00

会 場：創成科学研究棟 4 階 セミナー室 C

要 旨：固体酸触媒には、目的の反応に応じて酸の強さや疎水性などの制御が求められる。HPG 法により調製した  $\text{SiO}_2\text{-ZrO}_2$  は、高い比表面積と酸量を持ち、化学的安定性も高いことで知られる。この  $\text{SiO}_2\text{-ZrO}_2$  の表面疎水性と酸触媒能の関係、 $\text{WO}_3$  添加による酸性質の変化、また、 $\text{Ni/SiO}_2\text{-ZrO}_2$  によるエタノールからのプロピレン合成についての研究成果を紹介します。

《連絡先》 触媒化学研究センター 触媒物質化学研究部門

上田 渉

(TEL: 011-706-9164)

主催：触媒化学研究センター